

決算状況

令和3年度の

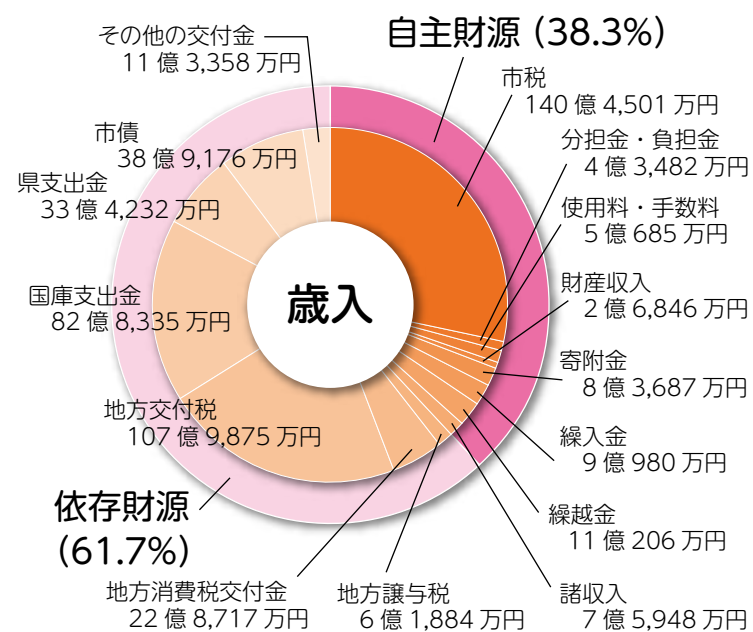
9月に行われた第5回伊賀市議会で、令和3年度一般会計・特別会計・企業会計の決算が認定されましたので、その概要をお知らせします。
※端数処理の関係上、決算書の数値と一致しない場合があります。

【問い合わせ】
財政課
☎ 22・9608
FAX 24・2440
✉ zaisei@city.iga.lg.jp

市の借金の減少や、当初の見込みよりも市税収入などが増加したこと、ふるさと納税の増加などにより、令和3年度の実質収支は17億9399万円の黒字になりました。これからも健全な財政運営*を行っていきます。
(*基準となる指標は8ページに記載)

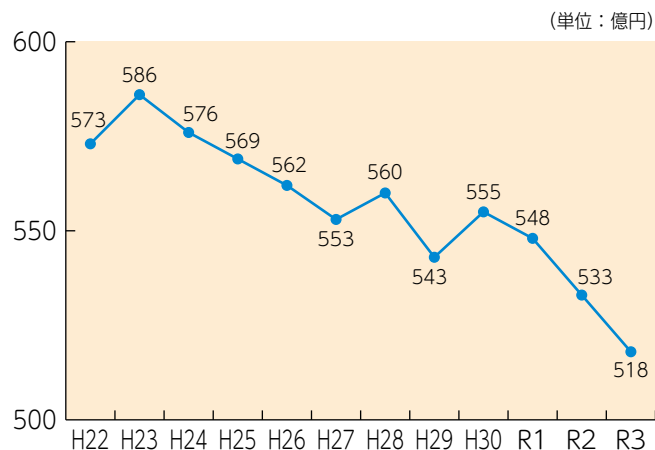
一般会計

歳入：492億1,912万円

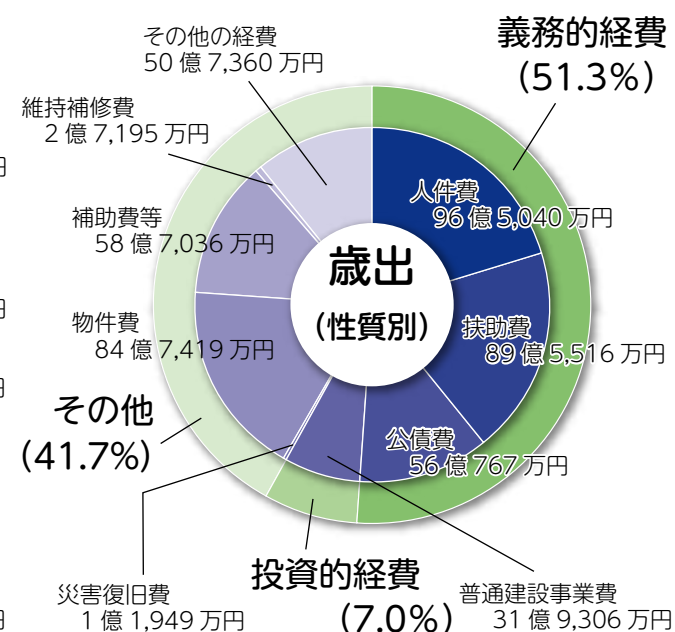


市債残高：518億円

いわゆる市の借金で、市民1人あたり約36万円です。

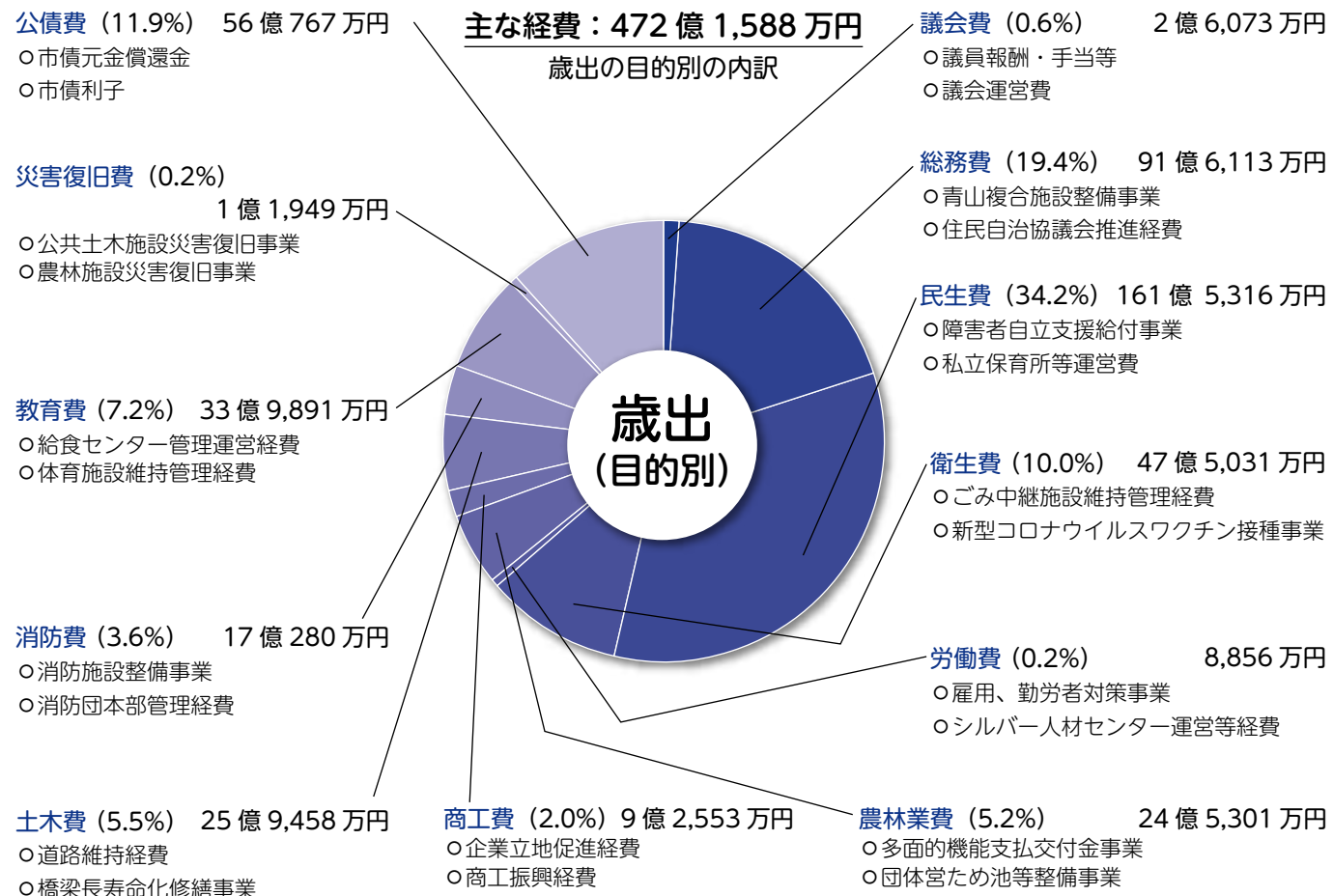
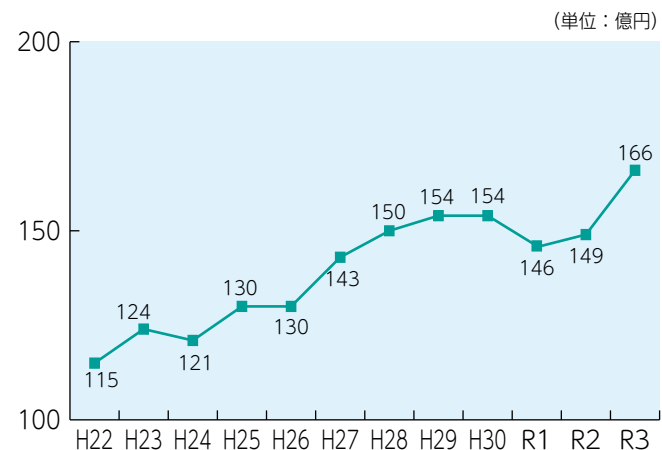


歳出：472億1,588万円



基金残高：166億円

いわゆる市の貯金で、市民1人あたり約19万円です。



市有財産の状況

区分		土地	建物	主な施設
行政財産	公用財産	102,002㎡	31,587㎡	庁舎、消防施設など
	公共用財産	3,804,221㎡	457,740㎡	学校、図書館、公営住宅、公園など
普通財産		2,843,343㎡	26,854㎡	上記以外 (山林など)
合計		6,749,566㎡	516,181㎡	

特別会計 (公営企業会計を除く)

市には、国民健康事業など6つの特別会計と2つの財産区会計があります。

特別会計全体の基金残高は約17億円で前年度と比べると約3億円の増、市債残高は約300万円で前年度と比べると約500万円の減となります。

会計名	歳入額	歳出額	差引額	基金	市債
国民健康保険事業	89億2,651万円	90億5,293万円	▲1億2,642万円	7,332万円	191万円
住宅新築資金等貸付	2,507万円	5,344万円	▲2,837万円	11万円	142万円
駐車場事業	3,466万円	3,466万円	0万円	—	—
介護保険事業	107億7,001万円	104億4,945万円	3億2,056万円	11億8,713万円	—
サービスエリア	796万円	746万円	50万円	6,631万円	—
後期高齢者医療	12億7,830万円	12億5,800万円	2,030万円	—	—
島ヶ原財産区	3,169万円	2,953万円	216万円	2億6,965万円	—
大山田財産区	1,383万円	1,276万円	107万円	1億1,985万円	—
合計	210億8,803万円	208億9,823万円	1億8,980万円	17億1,637万円	333万円

■財政の早期健全化・再生に関する指標

(財政健全化法に基づく指標)

健全化判断比率は、地方公共団体の赤字の大きさ(実質赤字比率、連結実質赤字比率)や借金返済額の大きさ(実質公債費比率)、将来に負担が見込まれる実質的な負債の大きさ(将来負担比率)を指標化したものです。

実質公債費比率は、昨年度より改善しており、将来負担比率も、市債償還が進んだことなどにより昨年度数値を下回っています。

すべての指標において早期健全化基準・財政再生基準を下回っており、健全な財政状況を維持していると言えます。



(単位：％)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率		
					病院事業	水道事業	下水道事業
伊賀市 ※()内は令和2年度数値	該当なし	該当なし	9.4 (10.5)	53.5 (68.7)	該当なし	該当なし	該当なし
早期健全化基準	11.89	16.89	25.0	350.0	経営健全化基準 20.0		
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	—	—		

※伊賀市の場合、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は、黒字のため“該当なし”となります。

■病院事業

■事業概要

調剤支援システム、医薬品在庫管理・発注システム、検体検査システム、移動型汎用カーボン製手術台一式などの購入や、老朽化した西館吸収式冷温水発生機改修工事、手術室自動扉改修工事などの施設改修を実施しました。

経営状況は、昨年に引き続き経営の効率化などに取り組んだ結果、利益を生じることができました。今後も医療サービスの向上と良質で高度な医療の提供、福祉の増進に努めるとともに、運営の効率化を図りながら、経営改善を更に進め、市民の負託に応えることができる病院をめざします。

■利用状況

	令和3年度	1日平均(※)
外来患者数(人)	74,788	309
入院患者数(人)	62,163	170

※外来患者1日平均人数は、外来患者数を年間診療日数の242日で割っています。

■市債残高 17億6,013万円

■病院事業の決算(消費税・地方消費税を含む)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
病院事業収益	51億2,980万円	51億3,431万円	—	増減額	451万円
病院事業費用	48億3,347万円	46億6,124万円	—	不用額	1億7,223万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
資本的収入	4億2,985万円	3億9,594万円	—	増減額	▲3,391万円
資本的支出	5億4,209万円	5億908万円	2,497万円	不用額	804万円

【問い合わせ】 上野総合市民病院病院総務課 ☎24-1111 FAX 24-1565

■水道事業

■事業概要

陽光台地内などで重要給水施設配水管事業を実施し、山出、希望ヶ丘、福川、石川地内などでは配水管更新事業に取り組んだほか、上野南送水ポンプ所ポンプ更新工事などにより設備機器の更新を実施し、安定して水道水を供給できる環境を整備しました。

経営状況は、計画的に管路更新や設備機器の更新を行い管路や機器の修繕費などの経費削減に努め、昨年度に引き続き利益を生じることができました。

今後も安心・安全で良質な水道水を安定的かつ持続的に供給できるように努めます。

■給水状況

	令和3年度	令和2年度からの増減
給水人口(人)	87,334	▲1,458
給水戸数(戸)	40,065	▲430
年間総配水量 A (m ³)	13,787,704	▲157,899
年間総有収水量 B (m ³)	11,464,701	▲92,813
有収率 B/A (%)	83.2	0.3

■市債残高 113億5,466万円

■水道事業の決算(消費税・地方消費税を含む)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
水道事業収益	34億4,061万円	34億2,229万円	—	増減額	▲1,832万円
水道事業費用	31億4,193万円	30億2,832万円	4万円	不用額	1億1,357万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
資本的収入	7億1,758万円	6億9,455万円	—	増減額	▲2,303万円
資本的支出	20億3,862万円	18億6,370万円	4,317万円	不用額	1億3,175万円

■下水道事業

■事業概要

公共下水道事業では、昨年度からの全体設計承認事業として、上野新都市浄化センターの機械電気設備更新工事、機械電気設備の詳細設計、管理棟・機械棟などの耐震診断を行いました。特定環境保全公共下水道事業では、柘植浄化センターの機械電気設備の詳細設計、管理棟などの耐震補強設計を行いました。

農業集落排水事業では、府中第3地区農業集落排水施設の通報装置更新工事を行いました。経営状況は、維持管理業務の効率化に努め、昨年度に引き続き利益を生じることができました。今後も下水道普及率の向上と公共用水域の水質保全に努めます。

■処理状況

	令和3年度	令和2年度からの増減
行政区域内人口 A (人)	87,794	▲1,468
処理区域内人口 B (人)	33,818	▲626
処理区域内水洗化人口 C (人)	28,977	▲238
普及率 B/A (%)	38.5	▲0.1
水洗化率 C/B (%)	85.7	0.9
年間有収水量 (m ³)※	3,896,721	31,184

※使用料徴収の対象となった汚水量

■市債残高 130億6,572万円

■下水道事業の決算(消費税・地方消費税を含む)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
下水道事業収益	26億371万円	25億9,567万円	—	増減額	▲804万円
下水道事業費用	23億9,332万円	22億2,442万円	—	不用額	1億6,890万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
資本的収入	6億1,415万円	6億111万円	—	増減額	▲1,304万円
資本的支出	13億4,516万円	12億4,464万円	1,733万円	不用額	8,319万円

【問い合わせ】 上下水道部経営企画課 ☎24-0001 FAX 24-0006